

Cham (Amédée-Charles-Henri comte de Noé)

Nos gentils hommes ; goût, tournure, élégance, mœurs et plaisirs de la jeunesse dorée.

Paris, Aubert [18—?] (文献番号12-231)

シャム画

我らの紳士仲間；ジュネス・ドレの趣味、態度、おしゃれ、品行と楽しみ

フランス第2の革命渦中の1830年は、諷刺新聞『ラ・カリカチュール』(La Caricature)の発刊の年でもある。グラビア印刷が導入される1870年代までのこの40年間には、数多くの諷刺画家たちが活躍し、絵入り新聞が隆盛をきわめた。こうして、パリ人口の半分がほとんど字も読めなかった時代とあって、絵入り新聞は広く読者層を獲得していたのはいうまでもない。

当時の主要な諷刺画家のひとりに、シャム (Cham) がいる。本名をアメデ・シャルル・アンリ・ド・ノエ伯爵 (Amédée-Charles-Henri comte de Noé) といい、1819年1月26日パリで生れ、1879年9月同地で亡くなった。彼の貴族的な姓は、洪水に生き残り、人類の祖となったノア (Noah) のフランス語ノエ (Noé) からきており、彼の雅号シャム (Cham) はノアの次男、Ham (フランス語 Cham の発音は kam) から選んだ。彼の父、ルイ・ド・ノエ伯爵 (Louis comte de Noé) はフランスの大貴族だった。

詳しい出版年は不明であるが、本書は、シャムによって描かれた20枚の手彩色版画集で内容は、1794年に反ロバスピエール派に荷担した金持の道楽息子たち、ジュネス・ドレの当時の趣味、おしゃれ、品行など、生活態度・意識の伊達男ぶりが諷刺的に描かれている。

「君、恐がることないよ！」(衿首を馬にくわえられた男)、「獲物なしの賞金めあて」(ライフル銃片手の二人のしゃれ男たち)、「車職工の約束」「べらぼうな抵当」(派手なガウン姿の高利貸し)、「気の毒な借金取り」「親友」(キザなフェンシング友だち)、「おやまあ、なんておしゃれな子犬だ！」(図右)「夜食の後の男爵様」(酔いつぶれる主人と使用人)、「元貴族」「クレ一射撃」(土鳩射ち)、「偏見なんかとっとときえうせろ！」…の各図はシルクハットを被り、胸元をクラヴァットで飾り、ピンクや薄紫の派手な色合いのチェックヤストライプのパンタロンと上着を身につけ、足元にはりボン飾りの靴を履いたステッキ片手のしゃれ男たちが描かれていて、当時の狩猟や乗馬、スポーツや遊びの様子がうかがい知れる。

この画集には、14ページにわたり、出版元 Aubert 社の出版目録が掲載され、出版物、定期刊行物、アルバム類、文様、服装書、肖像画、諷刺画、石版画など項目別に分けてある。

他に当館には1920年頃、ベルリンの A. R. Meyer 社から発行されたシャム画の8枚の単色石版画集『流行の苦痛；石版画』<383. 13-C> Qualen der Mode; Litographien が所蔵されている。

シャムが19世紀の服装を諷刺画として描いた図版のコレクションが数多くあるなかで、ヒラーの服飾文献目録 (P. 661) に載っている、インド、エジプト、トルコの服装を描いた図版

集『1800年にオリエント軍とエジプトで戦いに出かけるためのベンガル・イギリス領遠征に関する回想録』Mémoires relatifs à l'expédition anglaise partie du Bengale en 1800 pour aller combattre en Egypte l'armée d'Orient. [Paris] Imprimerie royale, 1826.をはじめ、リッパ－ハイデの服飾文献目録には、1830年代から1860年代に描かれたシャムの画集が、『現代の狂気。政治的、社会的諷刺』Folies du jour. Caricatures politiques et sociales par Cham. Paris, Aubureau du journal Le Charivari, [1848]のほか、3579番から3611番までに載っている。

当時の諷刺ジャーナリズムの指導者といわれた偉大な編集者、シャルル・フィリポン（Charles Philipon 1806—62）は、二つの重要な諷刺新聞、『ラ・カリカチュール』（1830年11月4日、週刊紙）と『ル・シャリヴァリ』（Le Charivari, 1832年12月1日、日刊紙）を創刊したが、シャムはこの『ル・シャリヴァリ』の中で、フランスとアルジェリアの生活の素描が好評を博し、1843年から死ぬまでの36年間、『ル・シャリヴァリ』で仕事を続けた。

図左は標題紙。図右は「おやまあ、なんておしゃれな子犬だ！」（佐藤〈俊〉）



—Vallée une rosière comme nous les aimons, nous autres gentils-hommes!